

大阪労山ニュース 2020.7月号 No.413



Y M C C ・川原健一さん 兵庫県・向山から望む丹波の山並（2020年4月29日撮影）

目次

- ①Voice 地球から核兵器をなくそう（佐々木雅博）
- ②会員拡大のためのアンケート（組織部）
- ③～④教育遭対部のページ
- ⑤女性委員会のページ
- ⑥平和と登山のページ
- ⑦～⑩各会・クラブの近況報告
- ⑬山楽登山の世界（中川和道）
- ⑭メガソーラーと自然保護（河野仁）
- ⑮編集後記

今号も新型コロナウイルス感染防止のため、編集委員は集まらず印刷と配布は極力少ない人数で行うためB5 16ページの発行となりました。ご了承ください。
(編集長大西)

大阪府勤労者山岳連盟

〒553-0006 福島区吉野 3-2-35 一般社団法人 大阪宣伝センター機関紙会館内

☎ 06-6467-8544 FAX06-6467-8545

VOICE 地球から核兵器をなくそう

佐々木雅博（大阪労山・顧問）

人間が作り出した悪魔の兵器【核兵器】、既に広島と長崎で使われ、更に1954年の南太平洋ビキニで行われた大規模水爆実験ではまぐろ漁船数百隻（一部には1000隻）が被ばく、焼津港の久保山さんが被爆死しました。これを機に原水爆禁止運動が起り、1955年の第1回原水爆禁止世界大会には3238万人の署名が集まったと言われています。

その後、曲折がありながら核兵器禁止の動きは前進し2017年「核兵器禁止条約」が賛成多数で可決され各国で批准が進んでいます。

ごく最近、アフリカのレソト王国が条約を批准したとの情報があり批准国は38ヶ国になりました。あと12ヶ国が批准し50ヶ国で条約は発効します。

この運動の推進力として日本の市民運動が果たした力は大きなものがあります。

国連事務所の入口に渦高く積み上げられた署名用紙の山が物語っています。

私たち大阪労山の行進参加も30数年の歴史を重ね、最近の参加者（延べ）は100名前後に達しています。

一日も早く国際条約を発効させ核兵器保有国の手足を縛り核の恐怖から人類を解放しましょう。

なお、今年2020年は新型コロナ感染拡大を防ぐため規模を縮小して実施されます。

6月30日スタート、7月7日兵庫県へ引き渡しは変わりません。

また大阪労山「平和と登山委員会」主催の「核兵器廃絶の学習会」も予定されています。皆様の参加をお待ちしています。



2019年7月7日 豊中市内行進中（撮影は佐々木）

会員拡大のためのアンケート 2020年度版

2020年6月吉日
大阪労山組織部

このアンケートは大阪労山に加盟する各会の組織の現状の確認、そして各会の会員拡大に活かす目的で3年ぶりに実施します。(会費の追徴などの目的ではありません) また、各会のコロナへの影響などもお聞きします。下記の項目について該当する数字を記入して下さい。また、選択する項目に○印を記入して下さい。

クラブ名: _____

提出日: _____月 _____日 記入者: _____

1. 2020年度総会時での昨年の総会時の人数と比較した会員数の変動についてお聞きします。

退会者() 入会者() 名 増・減()名

1.1. 新会員が加入した理由？

- ① ホームページ、ブログ、フェイスブックから加入 _____名
- ② 会員の勧めによる _____名
- ③ 新聞・雑誌などへの公開山行から _____名
- ④ 公開登山教室などの教育山行による _____名
- ⑤ 連盟の登山学校やセミナーに参加して加入 _____名
- ⑥ その他() _____名

1.2. 会員が退会した理由は？

- ① 老齢や膝痛等により山へ行けなくなったため _____名
- ② 山行の趣向の変化 _____名
- ③ 仕事(転勤、残業などで山へ行けなくなった)の都合 _____名
- ④ その他() _____名

2. 会員拡大について

2.1. 会として会員拡大の取り組みをしていますか？ 該当する番号に○印を記入して下さい。

- ① 積極的に話し合っ対応している ()
- ② あまり話し合いの時間を取らない ()
- ③ 全く話し合っていない ()

2.2. 下記の①～⑥について該当する項目に○印を記入して下さい。

- ① ホームページ・ブログ・フェイスブックを開設している。 ()
- ② 会員間の連絡用のメーリングリストがある。 ()
- ③ 機関紙(会報・事務局ニュース)が定期的に発行されている。 ()
- ④ 会報(山行報告や感想文)をブログやホームページに掲載している ()
- ⑤ 新聞社へ公開山行や会員募集の掲載を依頼をしている ()
- ⑥ 山の店等に”会員募集”や”公開山行参加者募集”のチラシを置いている。 ()

3. 新型コロナの影響による室内例会(又は運営委員会)・総会や例会山行の状況をお聞きします。

- ① 室内例会(又は運営委員会)はお休みしていたが、()月から実施。 ()
- ② 例会山行はお休みしていたが、()月から実施。 ()
- ③ 室内例会(又は運営委員会)はコロナの影響に関係なく実施している。 ()
- ④ 会としてZoom等でリモート会議や飲み会を取り組んでいる。 ()
- ⑤ 総会の実施状況？ ()

★切:8月20日(8月常任理事会)までに組織部浜田へ。又は連盟FAX(06-6467-8545)へお送り下さい。

教育遭対部のページ

1. 大阪労山「山の教室」

大阪労山教育遭対部主宰の「山の教室」は新型コロナウイルスによる肺炎の感染予防のため6月よりZoomというアプリケーションを利用したリモート講座を実施しています。各自自宅よりPC、スマホ、タブレット等からの参加が可能です。受講料はスマホを利用したキャッシュレス決済を利用します。(Paypay/d払い/LINE Pay) 7月には5月に延期したパーティー論リーダー論をリモート講座にて実施します。

◆7月のリモート講座

遭難事例研究(無雪期) 実用編 座学

日時:7/14(火)20:00~21:30

場所:各自自宅等(リモート開催)

費用: 1,000円(Paypay/d払い/LINE Payにて受付)

申込:<https://ws.formzu.net/dist/S43391928/>



事故が起きた時、労山大阪府連の仲間たちは、どこにまず連絡し、どのように行動して対処してきたのでしょうか？労山大阪府連S会の事故2011年9月での事例[文献1]から教訓を探ります。

さらに、引率したガイドさんが訴えられた事故の例として、10月20日のブリザード遭難[文献2]を考えます。

[文献1]中川和道「六甲山西山谷での行方不明死亡事故は 私たちに何を問いかけるか(増補版)」、労山ニュース2012年6月号21-25ページ。および『登山時報』2012年6月号20ページ。

[文献2]「10月のブリザード」、羽根田治『山岳遭難の教訓』ヤマケイ新書2015年、pp.51-71

パーティー論リーダー論 入門編 座学 ※4/21の振替講座

日時:7/21(火)20:00~21:30

場所:各自自宅等(リモート開催)

費用: 500円(Paypay/d払い/LINE Payにて受付)

申込:<https://ws.formzu.net/dist/S97769791/>



山に登るにはリーダーが必要です。カリスマリーダー、持ち回りリーダー、輪番リーダーという言葉聞いたことがありますか？コーチとリーダーはどう違うのでしょうか？ガイドとリーダーの違いは？パーティーのメンバーとリーダーの関係を実践論、法律論などから考えていくための入門講義を行います。滅私奉公のリーダーはやめましょう。輪番リーダーという新たなリーダーやメンバーを目指してみませんか？以下の文献3つをあらかじめ読んでいただくとより効率的です。

[文献1]「大阪労山ニュース」2016年10月号 中川和道「大阪府連における登山者養成:大阪の

新たな挑戦 2016 その1」

[文献 2]「登山時報」2013 年 1 月号, 大阪労山ニュース 2013 年 1 月号 2 月号 3 月号「溝手氏講演会『登山と法律』の記録」

[文献 3]溝手康史「登山の法律学」東京新聞出版局、2007 年。

2. 事故一覧

No.	年月日/ 時間	氏名/ 所属会	山域	状況・要因など
2019 年 度 19	2020/2/10 11:30	HY (男性) 55 歳 大阪 ぼ っぽ会	白馬連峰 白馬コル チナスキ ー場	2020/2/7～2/11 の日程で山スキー 訓練を白馬周 辺のスキー場で実施。 訓練 3 日目に白馬コル チナスキー 場コルチナ第 4 ペアリフト (最上 部リフト) から通称“裏コルチナ”コースを滑 降。 コース中間付近で大きな段差を降りた際 にスキー板が深雪に刺さり膝を中心にねじる ように転倒。自力での下山を行うが、膝の違和 感があり翌 12 日は宿舎で待機後帰阪。 傷病名：左膝十字靭帯断裂
2019 年 度 20	2020/ 2/1 14:30	HM (男性) 47 歳 泉州 勤労者 山岳会	大峰山脈 稲村ヶ岳	稲村ヶ岳に単独登山で入山。下山時、法力峠ま で 12 本爪アイゼンを着用していたが、ほとん ど雪もない登山道であったため、アイゼンを外 した。下山を再開したが、1095m 付近で左 足を滑らせ転倒し、左足首を捻挫。立ち上が ると左足に痛みがあったが通常の 3 倍の時間を かけ自力下山した。傷病名：左関節捻挫
2019 年 度 21	2020/ 3/7 14:00	KU (男性) 32 歳 豊中 勤労者 山岳会	六甲山系 不動岩 東壁 3 級ルー ト	パートナーと 2 人で不動岩東壁 3 級ルート of 2 ピッチ目登攀中、バランスを崩して 5～6 メー トル落下。その際、岩に身体をぶつけて痛み があったため登攀を中止し自力で懸垂下降 し歩いて下山。 傷病名；左坐骨骨折、両踵骨挫傷

報告件数 3件 (内昨年度分3件) (昨年同時期 5件)

▲ △ 女性委員会 ページ △ ▲

3ヶ月ぶりとなる委員会を開催する。

ウェブを含む久々のメンバーの顔合わせでの会議を行った。

△山筋サポーター活動

新たに4名の「山筋ゴーゴー体操サポーター」の誕生。山筋サポーター養成講座受講者4名への認定書が手渡された。大阪では合計12名のサポーターが山筋ゴーゴー体操へのアドバイスが出来るようになった…。各会で是非お声かけいただき、事故の無い山登りに向けた身体造りに役立てて下さい。

△山筋体操の復習

長いコロナ自粛生活でなまった?!身体に、山筋ゴーゴー体操「筋トレ編」・「ストレッチ編」を各部位の確認をしながら行った。

△女性委員会のあゆみ

近畿ブロック女性委員会がその歩みを纏めようと話が有り、大阪でも古い資料を基に徐々に女性委員会が進んだ履歴を集大成する試みを行っている。

△新女性委員紹介

*くまごろう高橋さん・きたろう早川さん

2名の方が新しく加わり、これからの活動に参加されます。

各会・クラブ代表者様 女性委員会担当者の登録のお願い

女性委員会は、女性が息長く登山を続けられることをテーマに活動し、時々女性に拘わる課題があればその解決に向けて長年取組みを重ねています。年間の活動を、今期の予定では下記のように行事を企画しています。

*女性のための登山教室の実施

*女性委員のスキルアップ…委員会活動中での学習

*こども冒険学校協力 *『山筋ゴーゴー体操』

*ダイトレ実行委員会からスタッフ要請依頼を受け葛城山豚汁担当

*全国及び近畿ブロックの女性委員会活動への参加 *近畿ブロック搬出講習会

*ハイカーのための搬出講習会に女性委員会として参加 (応急手当部門の協力)

これらの活動の推進を基本とし、合間に交流山行等を楽しんでいます。各会から選出をよろしくお願致します。例会日程は、基本的には月の第1金曜日を予定していますが流動的です。連絡は組織部を通じて、或いは直接女性委員会まで連絡下さい。

平和と登山のページ (2020年6月)

平和と登山委員会 文責：大西清見 (泉州勤労者山岳会)

2020年国民平和大行進

今年の平和大行進は、コロナ禍の諸事情で変則的な行進となりました。詳細は先月号で掲載しましたのでご覧ください。東京～静岡まではリレー行進はありませんでしたが、横断幕は各地へ郵送、リレーはオンラインで、という形式で行進が進められています。

大阪には6月30日に引き継がれ、例年通りの日程、コースで実施されます。しかし、この大阪のコースでは、コロナ禍対策を万全にして実施していくことが決まりました。先月号の資料の諸注意にありますように、発熱・咳などがある場合は参加を取りやめます、マスクを着用しますなど要請があります。また、今回は歌いながらの行進やピースコールは行わず、行進ペナント、フラッグなど、沿道の市民から共感をいただける宣伝の工夫を考えていきたい、という方針で行うことになりました。

昨年は延べ93名の平和大行進の参加がありました。今年は行進の規制が厳しいのですが、可能な限り一歩でも二歩でも、できることから参加を呼び掛けていきたいと思えます。大阪労山の各会でも日程を工夫しながら参加して平和大行進を盛り上げていきましょう。

なお、7月1日・6日は、地域の取り組みの事情で行進はありません。1日は各駅前等で宣伝行動が実施されるようです。(大西)

2020年度平和大行進の日程表

(集合/出発～到着/解散)

	コース	担当
6月30日(火)	柏原市役所 11:45/12:05～八尾市役所 14:20/14:35～ 岩田公園 16:50/17:05 約12km	佐々木
7月1日(水)	河内長野市役所～松原市役所…歩いての行進はありません 河内長野駅前宣伝 9:30～ 藤井寺駅前 15:15～ 松原駅前宣伝 16:30～	
7月2日(木)	泉佐野市役所 8:30/8:50～貝塚市役所 11:25/11:40～岸和田市役所 12:50/13:50～忠岡町役場 15:30/15:50～和泉市役所 17:00 約16km	澤村
7月3日(金)	和泉市役所 8:25/8:45～泉大津市役所 10:00/10:25～高石市役所 11:40/11:55～浜寺公園 13:00/14:20～石津太神社 15:10/15:25～ 堺市役所 17:00 約16km	澤村
7月4日(土)	住吉区役所 8:20/8:45～天王寺・あべのベルタ西側公園 10:20/10:35 ～大阪城教育塔前 12:25/13:20～大阪地方裁判所前・公園会堂前 14:10/14:25～都島区役所 15:10/15:25～旭区役所 17:00 約19km	入澤
7月5日(日)	守口市役所 8:30/8:50～門真市役所 9:45/10:00～土呂岐公園 11:20/ 11:35～寝屋川市役所 12:20/13:30～成田山不動尊 14:10/14:30～ 香里団地 15:15/15:35～枚方市役所 16:50 約16km	笠井
7月6日(月)	高槻市役所～吹田市役所…歩いての行進はありません	
7月7日(火)	大門公園 8:25/8:45～池田市役所 11:15/11:30～川西市役所 12:10 約8km	佐々木

*担当は常任理事、平和と登山委員会。1日、6日は行進がないので、担当者は空欄です。

ハイキングクラブE L F 事務局長・後藤恭志

① 会議・総会

年度末が近付き、各人忙しかったところに、コロナ禍発生で、運営会議（室内例会）は2月度より、例年4月下旬の総会も不開催のままです。

② 山行

上記の理由に加えて、天候不良等で例会山行も2月度より不開催です。有志・個人山行は、2月、3月は各12件の計画が提出されましたが、緊急事態宣言を挟んだ、4月2件、5月3件に止まりました。

八尾山の会 中路尚子

緊急事態宣言がでていた間は、例会は中止にしました。こんな時だからこそと、会員の近況を伝え、会員が心あたたまるほっとした特集記事で会の機関誌を作ろう！と編集しました。

「自宅にずっといて、こんな料理に挑戦した」「こんな本を読んだ」「孫と遊んでヘトヘトや」「プランター菜園にはまってる」「チャリ山行はきつかった」など記事がたくさん集まり、いつもと少し違った機関誌になりましたが、会員には好評でした。特にお互いの筋トレ情報には、励まされ、いつか再開されるであろう山行に多いに期待しつつ、自粛時間を有効に使う事ができるという効果もありました。

この間、数回運営委員会をラインのグループビデオ通話で行いました。そして、以下の事を決定しました。

6月の第4日曜日から、例会を再開します。5人以上の参加があるときは、2グループに分けて山行する予定です。

ミーティングには、マスク着用で三密を避けて行う予定です。

ピトンの会 菅野

室内例会など定期的に行っていない会ですが、ゲレンデでのフリークライミングはすべて中止となりました。2月の総会で決めた数少ない会山行の5月のフリークライミングは中止、沢山行は未定となっています。5月中旬からフリークライミング、アルパインのトレーニング、ハイキングはボチボチ再開しています。

泉州勤労者山岳会 事務局長：藤澤裕子

泉州労山は大阪府連盟より早く3月の第一日曜日が総会開催日です。三密を避けるような勧告は出されていましたが、入室時のアルコール消毒やマスク着用などの対応をし、3名の新会員を迎えて57名の会員で総会を開催、新役員も決まり2020年度の活動が始まりました。3月の山行は予定通りに実施しましたが、それ

以降は自粛要請や緊急事態宣言など政府や自治体からの要請や指示があるたびに会としての方向を検討してきました。例年ならお花見山行や新人歓迎会、GWの春山合宿、その合宿に向けての訓練など会員皆がワクワクしているところですが4月～5月にかけては会の集会・行事・訓練・山行は全て中止としました。そして5月25日いよいよ緊急事態宣言も解除となり、山岳四団体や山岳医療機構の「登山再開に向けた知識」などを参考に6月は5人以下での自主企画山行から再開しています。その間Zoomを使ってのオンライン役員会を2度開き、機関誌部の努力もあり会報「やまなかま」もweb版として発行しました。また毎月第一水曜日に開いている集会の日程を変更し、6月17日にはオンライン集会を開く予定です。コロナウイルス感染はまだ終息した訳ではないので、今後に対応すべきことは多々あると思います。会としての活動や登山の方法も変わっていかざるを得ないでしょう。すでに今年の夏山合宿も中止することを決定しましたが本格的に登山ができる日が来たときに向けての体力作りやリハビリ登山の計画、会員間の「気持ちは繋がっている！」を感じることができるような取り組みを考えていきたいと思っています。

きたろうハイキングクラブ 会長・石野博良

1. 定期総会 4月4日（土）を予定していたが、60余名が一室に集まることは完全に「三つの密」状態になるので、3月13日の運営委員会で延期を決定。4月10日の運営委員会で6月20日開催を提案し承認された。当日は窓を開け、30分に一度は入口のドアも開ける予定。
2. 公式山行（7つの専門部がある） 4月10日の運営委員会で5月、6月の公式山行の中止決定。7月以降については、6月12日の運営委員会で適否を討議。
3. 有志山行 少人数による「三つの密」を避けることで特に規制はしない。
4. 緊急連絡網の整備 上記の公式山行を全会員に周知する為、メール等の手段による連絡を整備した。
5. 山岳四団体による「自粛要請解除後の登山・スポーツクライミング活動ガイドライン。 感染させない、感染しないために」を、専門部長経由運営委員（約80名）に周知した。

大阪志峰会 中尾

会活動と自粛について、国の緊急事態宣言で、一遍した、3月から、蜜を避けて例会（集会）を避けた。通勤時間帯と同機が理由、4月からの山行は、個人山行のみ（トレ山が主）。5月21日を機にこれも個人山行（近場でのクライミング）。総会をしてないため、役員は継続している。6月10日、例会を開催、少しずつ動き出す。こんなことしてた、ラクラクのラインで山のクイズ？、戦後の登山家の記録、などの情報を事務局が発信。

KONK 会長・仲弘栄

3月は集会も例会山行は予定通り実施しましたが、4～5月は4月7日に緊急事態宣言が出されてからは総会も含めて集会、例会山行、春合宿を中止にしました。例年実施している障がい者ハイクも中止としました。また個人山行は三密を避け移動手段に気をつけて行動すればOKという指針を出しました、件数としては数件の報告にとどまりました。6月に入って緊急事態宣言が解除されてからは通常の活動に戻りつつあります。ただ、このコロナ禍において総会が中止になり決定事項を議決権行使書という形で処理した事と、会員からウェブ会議を検討してみてもという意見が多数寄せられ試験的に実施した事、まだまだ多くの課題はありますが新しい方向性が見えてきたように思います。

勤労者山岳会つりばし 下窪義文

新型コロナウイルスの影響で会が止まった！

2月までは会運営ができていた。3月の会ミーティングから止まってしまった。

●会の運営が止まった。

- ・月のミーティングをZoomで呼びかけたが装備品が揃っていないのか参加がない。
- ・総会も3密の確保がむずかしく開催されなかった。
総会資料を书面郵送して意見を聞いているが全員のまとまった意見が集約できていない。

●山行が止まった。

- ・3月例会は近場の山で5人が参加したが以後の会山行は中止している。
- ・近場の山に個人山行は認めている。

一度止まってしまうと山への意思が薄らいでくるのでは、会運営山行に意欲が無くなってくるのでは。会員の高齢化は進んでいることも影響している。今後の会運営がどうなるのか心配だ。生涯、山の現役者でありたいものだ。

山の虫クレマントクラブ（YMCC） 川原健一

コロナ渦以前から、当会では会山行やミーティングが久しく行われておりません。個人的事情で山行に行けない状態の会員が多く、やむを得ないのですが、動ける会員は活発に活動しています。今後どのように会が変わっていくか定かではない中、個々の山行の安全安心のためには会を継続していくことが必須との認識は共有されているので、今後もじっくりと運営していきたいと考えています。

H. C. terur これまでの経緯と近況報告 戸田佳子

<これまでの経緯>

4月上旬：行政からの自粛要請を考慮し、4月、5月の会行事（会山行・室内例会など）の中止を運営委員会で決定（以下運営委員会は全てZoomで開催）

4 月下旬：緊急事態宣言及び山岳四団体の登山自粛に関する声明文を受け、登山を控えるよう会員へ呼びかけ（禁止はせず、個人山行は今まで通りに計画書を提出してもらおう）

5 月上旬：引き続き 6 月の会山行は中止を決定、室内例会は Zoom で開催

5 月下旬：緊急事態宣言解除を受けて、山行自粛の呼びかけは取り下げ、7 月室内例会の開催も決定

<近況報告>

6 月に入り、近郊の日帰り登山が個人山行で沢山上がるようになりました。

また、7 月例会山行の実施に向けて、どのような形で開催すべきかを、運営委員会で思案中です。

吹田勤労者山岳会 泉田靖子

2 月始め中国武漢で感染症が蔓延し大規模な病院建設が進んでいる映像が流れ、あれよあれよと言う間に「新型コロナウイルス感染症」が日本でも身近な事になってきた。

2/27 日、当会として「第 52 回定期総会」を除き 3 月の行事全てを中止する事にした。3 月半ば感染者の増える中での総会は無理と判断し、急遽、書面決議に切り替え、4/15 日選挙管理委員立ち会いの下、「第 52 回定期総会」は終了し新役員が決める事が出来た。

●運営委員会・月例会の取り組みについては、

第 1 回運営委員会は 3 役＋数名で行い、5 月はグループラインを立ち上げビデオ通話で。

6/1 日、緊急事態宣言の解除により役員全員参加のもと、対面会話の会議を開く。続いて 6/3 日、4 ヶ月振りに会員 2/3 以上の出席の下「山行月例会」を開き、皆さんの元気なマスク姿や弾む声が響き、和やかな笑顔に溢れた約 2 時間の会議となりました。（因みに、検温・マスク・換気・個人情報記載・三密回避を考慮しての会議です）

●6/3 日の月例会では

自粛期間中の過ごし方・ これからの山行予定 ・ 感染防止の為の山行指針・ 感染リスクを回避しながら山行への取り組み方などについて話し合いました。

自粛期間中の会員さんの過ごし方は

*登山口まで自転車や徒歩で行き 4~5 時間の山行。 *週に数回の万博回遊

*登山口まで途中下車なしでの車山行。 *近場の山や堤防歩き

*山菜採りなど簡単な山歩き。 *サイクリング *家での自粛生活

等など会員さん各自が出来る限り公共交通機関を避け、体力の維持・免疫力アップを考え自立した山行に努め、前向きに過ごされていた様子が感じとれました。

●今後の取り組みについては

感染症リスクを考慮した山行指針を決め、手段や山域を考え自然との関わり・人

との関わりを大切にしながら前向きに、そして柔軟に取り組んでいきたいと思っています。

●最後に

3ヶ月を振り返ると初めての書面決議に依る総会や、「オンライン化」・不慣れたビデオ会議へのチャレンジによる協力体制など、得る物も沢山あったのではと思っています。

吹田労山から感染者は出ていない!! 素晴らしい報告で終わりたいと思います。

大阪ぽっぽ会 近藤恵子

大阪ぽっぽ会は4月初旬早々に会での活動を自粛、その後緊急事態宣言が発令され、山行はもちろん会員同士が会って話す機会もなくなってしまいました。そこでオンライン飲み会などで話題となっていたビデオ会議サービスの「ZOOM」を利用し会員間のコミュニケーションを取り始めました。

初めて直面した外出自粛という中で、クライミングの訓練ができない戸惑いや悶々とした事などもZOOMを通して会員間で解消しあい、個々のトレーニングを紹介しあったり、アルパインクライミングの確保技術論を話し合ったり、山行の思い出やお約束の飲み会も。また、ZOOMのお陰で遠方に住む会員とも話ができて、自粛期間中でも会として活動ができる良いツールとなっていました。そして6月に入り、まだコロナ禍中ですが、落ちた体力や勘を少しずつ取り戻すとともに、入会1年目の新人向けのアルパインクライミング訓練を中心とした山行活動を再開しています。

山の会カラクルン 林孝治

6月になって、コロナ禍は終息の兆しが見えてきて、政府のコロナ感染対策の検証も行われるようになってきた。それによると3月末にはピークアウトを迎え、感染者は減少の一途をたどっているのに、4/7に不要な非常事態宣言が発動された。当時は感染減少がわからなかったかもしれないが、緊急事態宣言が必要なことが明らかになったあとの5/6に不要な緊急事態宣言を5/31まで延長して、さらに国民を苦しめた。

この間、労山全国連盟は登山4団体と一緒にあって、労山会員のみならず全国800万人といわれる登山愛好者を家に閉じ込めてしまった。「登山はすぐれたスポーツ文化であり、憲法で保障された国民の権利である」と大袈裟なことをいいながら、登山の自由が侵害されようというときに、何もせず、かえって公権力の片棒を担いでしまった。

山の会カラクルンでは、感染拡大しないよう注意しながら、今までと変わらぬ登山を続けていただくよう、会員に伝えた。ただ、現地では、他府県からの登山者を締め出すため、駐車場や登山道をクローズしているところもあるかもしれないの

で、地元の人とトラブルにならないよう、会員各位にお願いした。実際、鈴鹿にテント泊で行った会員は、折から遭難者を捜索中の警察官と遭遇したが、警察官は、「気をつけて、登山してください」とむしろ歓迎ムードだったと報告していました。カランクルンの登山数はおそらく、例年の4割程度ですが、全体的に活発に動いていたと思います。

また、種々の理由で、家に留まる人もいましたが、その場合、他の会員をチクルのような「自粛警察」に走らないようお願いした（もちろん、そんなことをする人はいなかった）。ミーティングはリモートで行うことが定着し、週に2,3回リモート飲み会を行っている。

・くすのき山遊会 高橋明代

コロナ禍で登山者が登山を我慢することになったのは、感染症予防対策の遅れが原因です。どんどん検査をして、病床が十分であればステイホームなんて必要なかったわけです。これまで、政府は病床を減らし、介護や医療への予算削減などなど人間の命を守ることをおこたってきたのです。この間の国会討論を読んでもそれは明らかです。登山をどんどん楽しむためには、今の医療制度ではだめなのです。

そういうことを会の総会でも（6月）発言しました。

会員の動きはそれぞれで、誘い合って私市などの近場の山に行くメンバーもいました。自家用車がある夫婦会員は（実は3組います）車で足をのばしていたそうです。

しかし、5月に大変な事が起きました。一番元気で単独でアルプス系を縦走してきた会員が心臓疾患で急死したのです。

そんななかの6月に総会を開催しました。一年の登山をまとめてみるとなんと95回も個人や会で登山していたのです。事実をつかみ今だけをみるのではない運営が大切だと痛感したものです。人数を増やすことはなかなかできないが、「うちもなかなかやってるやん」という自覚がもてた総会でした。

個人的にはたいそうですが…多分これで生き方変わるな…というのが実感です。

物事・人・自然・仲間…世界のなにもかもへの見方が変わったこの数か月でした。

「新しい？日常」の登山 コロナと熱中症とともに

OWCC 中川和道 20200615

世界を席卷する「新」自由主義とかいう政治思想が規制緩和の一環として感染症への備えを不要不急とみなして医療資源(保健所・病院の数、感染症対策予算など)を削減した[1]。そのつけが一気に世界を襲い、医療者は特攻隊のごとく危険にさらされ、安全も経済も登山も文化も停止した。

トランプ大統領の声高な発言のとおり「夏になればコロナはおさまる」かと幻想をもったが、そうはいかなかった。巣ごもり後の「新しい？日常」の登山は体力に要注意だ。今年は何と、マスクも加わる。高齢の中川は熱中症を背負って山に登る。低体温症もあわせ、その対策を紹介しよう。

1. テルモス

- (1) 水は入れないで氷だけを入れる。水筒を別に用意し、氷のテルモスに150ccの水を加え、氷水をつくってコップに全部取り出し、氷水をゆっくり飲む。テルモスには氷だけを残し、次に備えると長持ちする。
- (2) テルモスの大きさは、5時間行動くらいなら350cc(写真1)、10時間行動には1000ccほどがいいと中川は思う。
- (3) テルモスは年中持参する。夏でもアルプス級の山では、中川は何度も低体温症になった。お盆の滝谷ではうすすら氷が張っていたこともある。冷たい雨と暴風の中で「低体温症のあの震え(下記)」が来たら、テルモスに用意した熱湯をいただく。2009年7月16日トムラウシ大量遭難で同じコースを生還したI豆ハイキングクラブはテルモス持参で備えていたからあの危機を脱したといい、これをヒントにした。



図1.テルモス 350cc

2. 霧吹き

- (1) 水が気化(蒸発)するとき奪う熱量Hは1グラム当たり580カロリー。人体の比熱Cは1kg当たり1℃あたり850カロリー[2]だから、 $m=180$ グラムの水を無駄なく使えば、体重 $M=60$ kgの人の体温を、理論的には $T=2$ ℃下げられる($m \cdot H = m \cdot c \cdot T$)。実際にはもちろん余裕が必要だ。
- (2) 水は、霧で吹きつけ、うちわ(大きいものが必要)であおぐと無駄がない。タオルで濡らすのは無駄が大きい。今年のはたまたま、コロナウイルス対策にとアルコールが入った霧吹きを持参する方々も多いから、これを活用しよう。中川が100円ショップで買った霧吹きの頭部が写真2だ。コップなどに水を入れ、しっぽを突っ込んでハンドルを操作すればそれで十分。霧がじゃんじゅん出ることをあらかじめ確かめておこう。この頭部のねじはペットボトルにも合う。
- (3) 少量でも水は持参しよう。2リットル全てをスポーツドリンクにしないで、熱中症予防霧吹き用の水200ccくらいは分けておこう。
- (4) 別件だが、登山では目に砂やごみや虫が入ることがある。洗眼水を50ccでもいいから持っておくとよいと泉州労山のH高さんに教わり、アイスクライミングで目に入った泥を洗った経験がある。夏にはこの洗眼水と熱中症予防霧吹き用の水200ccを兼ねて中川は持っている。目を洗うには、ペットボトルのふたに穴をあけたスペアのふたを使う。これもH高さんの直伝だ。



図2.霧吹き

3. 熱中症の自己診断：遠慮せずに大声で申告を

熱中症も低体温症も、重症化する前に手当をすれば簡単に復帰できる。重症化する前に自分で大声を発する「私、あぶないです！全員、止まって下さい」と。それには、自分の体調異常を自分が見逃さないことが前提だ。自分の体調初期異常は他人には分からない。頼りは自分だけだ。

真夏に換気扇を止めて湯気で充満した風呂場で、足の屈伸を100回ほどやったら、中川は見事に熱中症になりかけ、これが兆候かと思い知った。また、冬に、風呂上りに体を拭かないまま50cm大扇風機の前に立ったら5分もせずガタガタ震えて低体温症になりかけた。家族に救援体制をお願いし、決して無理をせず、早めに音をあげ、自己責任の前提で、自分の兆候を自分で覚えておくと「私、あぶないです！全員、止まって下さい」と、山で、言えるかも。

文献 [1]朝日新聞5月23日 エマニュエル・トッド

[2]「人体 比熱」でWeb検索。

＜メガソーラーの山林・山間への設置と自然保護＞

「環境技術」2020. No.3 (特集別刷) B5判、20ページ

メガソーラーは、山林等への設置が急速に進み、各地で反対運動が起きています。

太陽光発電は、地球温暖化対策として必要ですが、メガソーラーが自然環境の中に設置される場合は、環境保全、景観、災害防止の観点から設置が可能な場所と制限される場所の仕分けが必要です。

ところが、これまでの森林法、環境影響評価法では、そもそも太陽光発電を想定していないために、その規制がなく、さまざまな問題をひきおこしています。

そこで、本特集では、再生可能なエネルギーの普及と自然環境保全の両立をめざす立場から、メガソーラーに的をしぼり、規制の現状を整理し、各地の取り組みを紹介し、今後のあるべき方向について提案します。この問題に関心をもつ市民の方々に読んでいただきたくご案内を致します。
(企画：河野 仁本誌編集委員)

■メガソーラーの山林・山間への設置はなぜ起きているか—政策の問題と解決の方向—

兵庫県立大学名誉教授 河野 仁

太陽光発電は、分散型エネルギーであり、火力や原発を比べて数が多い。そのため、自然保護、景観、環境の観点から設置条件を法律や条令で設定することが重要であり、利益が地元還元されるための法的な支えが必要です。風力、地熱、バイオマなど他の再エネとのバランスが必要です。

■太陽光発電に係る林地開発許可基準の整備について

前 林野庁森林整備部治山課 小林亜希美

太陽光発電を林地へ設置する場合の許可制度に焦点を当てます。制度の歴史と太陽光発電の問題、そして、防災と景観の観点からうちだされた今後の方針—許可基準について解説します。

■山間地へのメガソーラー開発における自主簡易アセスの取組みから

NPO 地域づくり工房 傘木宏夫

長野の山間地でメガソーラーを設置開発しようとした事業において、事業者・地域住民と一緒にとりくんだ自主簡易アセスの5件の事例を解説します。「自主簡易アセスメント」を実施することで事業者と住民の意思疎通ができれば、地域の環境保全につながります。

■地域に根ざした再生可能エネルギー事業による環境保全の可能性

一橋大学大学院経済学研究科 准教授 山下英俊

メガソーラー等によって土地利用のしかたを改変するには、所有者だけでなく地域社会の合意が必要です。そのためには、「土地利用を社会化」することと、自然環境を維持する「費用負担を社会化」することが肝要ですが、ではどのようにするのか？ 長野県の「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」を参考に解説します。

ご購入は……		価格	800円(税込) +送料140円		① ゆうちょ銀行：記号14140 番号92781781 環境技術学会 ② 郵便振替：00980-0-23988 環境技術学会 ③ 銀行振込：三井住友銀行 大阪本店営業部 普通 3943459 口座名義人：カンキョウギジュツガクカイ カイチョウ ジクフミヒコ ※いずれかの口座にお振込みください。入金確認後、冊子をお送りいたします。 ※振込手数料はご負担くださいますよう、お願い申し上げます。
お問い合わせ・お申込み (郵送・メール・FAXで)		環境技術学会 会誌係 (学会ホームページ： https://www.jriet.net/) 〒621-0835 亀岡市篠町浄法寺中村48-1 中川公認会計士事務所内 環境技術学会担当 E-mail：kankyo-g@jriet.net / FAX：0771-55-5212			
お名前 (ご所属)		()			
送付先住所	〒	—			
電話		E-mail			
部数	部	備考	領収書 (要・不要) 宛名 ()		

今年の3月からコロナ禍で生活スタイルが一変しました。週二日の仕事(高校私学)も、趣味の山歩きも。経済界で歓迎されていた、潤う「密」から敬遠の「疎」の世界へ。そんな中、ときどき両親の居る実家(京都府伊根町)に帰省する度に生き生きした風景に出会います。京都府伊根町の農漁村、この三か月、みんな農業に漁業に今まで通りに普通に働き、普通に生活しているような空間がありました。5月いっぱい、コロナのことも忘れて母とのフキ摘みも、何と農協に出荷したフキは段ボール11箱にも。漁業も写真のように毎朝、ノーマスクで元気に出港していきます。この時期の漁獲はトビウオに時々ヒラマサの高級魚も。野に山に疎の空間に広げられる健康な生活が見られます。少し前までマスコミでも人口急減と生活が厳しい過疎地域の問題が報道されていましたが、生活や環境は農漁村の方が見直され輝いているように思われました。ちなみに京都府北部の4つの市町村はまだコロナ感染者ゼロなのです。実家への交通路で必ず寄るのが丹波篠山市西紀、ここでもコロナ感染者ゼロですが、写真のように「コロナに負けるな」と大勢の日本国民を励ましている風景に感動したのでした。どこも漁村や農村は元気いっぱいです。



2020.5 丹波篠山市西紀付近の農村で



2020.5 京都府伊根町の漁村、今日も元気いっぱいに出港

今月も各会より会報を送っていただきました。

安治川山の会ニュース(安治川山の会)、やまなかま(泉州労山)、きたろうニュース(きたろうHC)、にしよど(西淀労山)、ぽんぽん山(高槻)、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙(鹿児島労山)、兵庫労山会報、県連ニュース(和歌山労山)

発行日 2020年(令和2年)6月22日 No.413

編集・発行 入澤、笠井、園、高橋、中井、中尾、大西清
